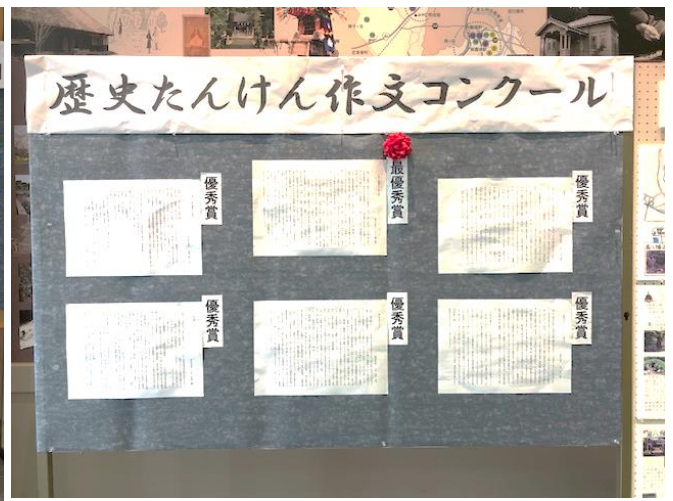


受賞・入選作品展示風景



最優秀賞受賞のお二人



絵画コンクール 最優秀(グランプリ)賞
行橋小学校1年 清水太玖斗さん



作文コンクール 最優秀賞
黒田小学校6年 石灘陽大さん

絵画コンクール・作文コンクール受賞・入選作品決定

わたしの町の過去・現在・未来絵画コンクール(応募総数1,126点)

グランプリ賞(1点)

賞	学校名	学年	氏名	タイトル
グランプリ	行橋小学校	1	清水 太玖斗	ジンペエサメのバスにのってでかけよう!

優秀賞(6点)

賞	部門	学校名	学年	氏名	タイトル
優秀	過去部門	豊津小学校	3	芝尾 紗弥香	くら持山の山ぶし
		勝山中学校	2	樋口 元音	京築神楽
	現在部門	犀川小学校	6	濱江 蒼亮	みやこ町の甲塚方墳
		育徳館中学校	3	井口 諒	八景山からみた風景
	未来部門	行橋小学校	1	清水 太玖斗	ジンペエサメのバスにのってでかけよう!
		育徳館中学校	3	萩尾 愛梨	未来

佳作(15点)

賞	部門	学校名	学年	氏名	タイトル
佳作	過去部門	苅田小学校	1	中村 結葵	苅田町の苅田山笠
		豊津小学校	1	橋本 愛花	大きなみやこ町の三重塔
		苅田小学校	6	清水 彩花	苅田小学校の機関車
		行橋北小学校	6	古門 茉歩	今井祇園の大鳥居
		育徳館中学校	3	原田 大獅	上毛町の春
	現在部門	犀川小学校	1	廣木 凜	みやこ町崎山のひまわりまつり
		椿市小学校	3	三味 璃空	神楽
		育徳館中学校	1	平野 心乃莉	行橋駅のオブジェと景色
		勝山中学校	2	村中 己哲	大自然
		育徳館中学校	3	渡邊 心海	築上町小山田の見慣れた風景
	未来部門	黒田小学校	3	池上 寧々羽	いっぱいあそべるみやこ町のでっかい木
		行橋小学校	3	清水 奏多	未来の行橋はえがおいっぱい
		犀川小学校	4	進 宗一郎	未来のみやこ町
		豊津小学校	6	白石 晃太郎	みやこ町の三重塔
		勝山中学校	3	井上 稟盛	自然と共存する町

賞・部門ごとに学年順、氏名の五十音順に配列しています

小学生歴史たんけん作文コンクール(応募総数 23 点)

最優秀賞(1点)

賞	学校名	学年	氏名	タイトル
最優秀	黒田小学校	6	石灘 陽大	みやこ町勝山のにわとり楽

優秀賞(5点)

賞	学校名	学年	氏名	タイトル
優秀	節丸小学校	5	長尾 希美	神楽をしらべて
	伊良原小学校	5	藤山 空	上高屋小学校と蔵持山の歴史
	黒田小学校	6	井上 翼	「古墳めぐりパンフレット」を作って
	豊津小学校	6	川原 杏壬	青い目のサムライ
	苅田小学校	6	長瀬 優花	松山城

学年順、氏名の五十音順に配列しています

最優秀賞受賞作品紹介



絵画グランプリ賞「ジンベエガメのバスにのってでかけよう！」

行橋小学校 1年 清水太玖斗さん

みやこ町勝山のにわとり楽

黒田小学校 六年 石灘 陽大

僕たちの生活は、新型コロナウイルス感染症によって、大きく変わってしまった。僕の住んでいる黒田地区でも、昨年も今年も神幸祭は行われず、黒田地区に伝わるにわとり楽をおどったのは、二年前で、僕にとってはそれが最後のにわとり楽になった。これから勝山黒田に伝わるにわとり楽の話について書くと思う。

にわとり楽は別名黒田楽とも言う。その名前のとおり、にわとり羽の被り物をかぶった地元の男児が参加できる楽である。楽衆には、化粧をほどこし、振袖を着せるなど、稚児の装いがほどこされる。さざなくわしく言うと、大きく四つのパートがあり、僕たちは、その四つを、かね、太鼓、つえ、との様と呼んでいた。かねのパートは、一番小さい子供達から成る。きれいに化粧をして、おかっぱ頭のようなつちをかぶるので、まるで女の子のように見える。実際に僕は、自分がにわとり楽に参加するまでは、神幸祭を遠目に見ていて、女の子がおどっていると思っていた。太鼓パートは、中学年の男の子たちが、頭の上に、にわとりのかざりをつけ、太鼓の長に続いて、たたいていく。つえのパートは、高学年の男の子たちで行っていく。おどりはないが一メートル五十センチメートルくらいのつえをもち、打ちつけあったり、つえを交しあわせたり、難しい演舞をひろうする。との様の役目は一人しか選ばれない。との様は長い楽由来言上を覚え、輪の中心で大きな声でひろうする。大人の横ぶえや、指揮にあわせ、かねや太鼓をならし、全員で一通りおどっていくと、すこくうかでかれないにわとり楽になる。

にわとり楽をほうのうする場所にも順番がある。まず、黒田神社、次に貴船神社、黒田神事場、最後に庄屋塚古墳へと回る。この時、衣裳がとて重く、とてもつらかった思い出がある。にわとり楽の始まりは、昔、この近くにあった村で、疫病が流行したときににわとり楽というものを作り、毎年四月に黒田神社に奉納したことだといわれている。

僕たちの学校である黒田小学校の体育館の壁には、にわとり楽が描かれている絵がある。この絵には、平成初期に書かれたと記されている。僕は、この絵を見て、にわとり楽は、ずっとずっと前から、地元の人や、地域の人達に大切に守られてきたんだと感じた。そして、僕は、この昔から受けつがれてきたにわとり楽を、下の世代に受けつぐ大切な部分の役割を持つていたことに気づいた。そう思うと、五年生、六年生と神幸祭が中止になり太鼓やつえができなかったことが、とても残念でならない。僕は、はやく、世界が落ちついてほしいと思った。そして、完全には、もとの生活に、もどることができないかもしれないが、伝統を受けついでいける世の中に、なつてほしいと思う。また、にわとり楽が再開したら、いままでおどってきた仲間と共に、「ピーカンカンピーカンカン」とかねや太鼓がなりひびく神幸祭に行きたいと思う。

作文最優秀賞「みやこ町勝山のにわとり楽」

黒田小学校 6年 石灘陽大さん